

令和7年度 全体的な計画

社会福祉法人 桜美会 駅東さくら保育園

保育理念		・園は児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図ることを目的とする ・園は入所する子どもの最善の利益を考慮した保育を行うものとする ・園は乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かにづくり、子どもの福祉の増進を図るものとする												
保育方針		・家庭的で温か味のある保育環境の中で、一人一人の発達や主体性を大切に受け止め、豊かな人間性を持った子を育てていく ・食を通して健康な心と体を作り子どもの生きる力を育てていく ・異年齢児が自然に関わり合える環境づくりと子どもが主体的、意欲的に活動できる生活の場を保障する				保育目標		・健康で明るい子どもを育てよう ・感謝の気持ちや思いやりのある子を育てよう ・考える子どもを育てよう ・豊かな心と感性を持った子を育てよう						
★発達過程と相関性 ・一人一人の子どもの発達過程を十分に理解し育とうとして いる意欲や心情を大切にねらいや内容を考えた保育が展開 される ・適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動する事を大切 にした保育とする ・子ども一人一人の成長段階をふまえながら、養護と 教育が一体となった保育が展開される。			★社会的責任 ・児童福祉施設として、地域における子育て支援を積極的に 行い、社会的役割を果たす ・園の職員は子どもの人権を尊重して保育を行う(児童福祉法) ・園の職員は保育を通しての知り得た個人の情報や秘密を守る ・地域との交流や子育てに関わる情報の提供をおこなう ・苦情処理解決のしくみを明確にし、保護者に周知する。 (第三者委員設置)					★地域の実態に対応した事業 ・延長保育(18:00～19:00) ・自園型病児保育(体調不良児への対応) ・送迎保育ステーション ★地域活動事業 ・世代間交流事業 ・ボランティアの受け入れ ・異年齢児との交流事業			★保育時間 ・平常保育(月～金):7時～18時 ・延長保育(月～金):18時～19時 ・土曜保育:7時～18時 ★送迎保育ステーション ・月～金 連携園3ヶ所(さくら、栗の実、せいほう) ★主な行事 【春】 保育参観 内科検診 歯科検診 【夏】 セタの集い プール 運動会 【秋】 祖父母の集い 【冬】 内科検診 歯科検診 発表会 節分 卒園式 【毎月】 誕生会 身体測定 避難訓練			
子どもの	【0歳児】	・生理的欲求を満たし、生活リズム をつかむ		【2歳児】	・行動範囲が広がり探索活動が活発になる		【4歳児】	(送迎ステーション利用児) ・2重の保育に不安なく安定した生活を過ごす						
保育目標	【1歳児】	・未知の世界に興味を持ち 活発になる		【3歳児】	・自分のしたい事、言いたい事をことばや 行動で表現する		【5歳児】	(送迎ステーション利用児) ・2重の保育に不安なく安定した生活を過ごす						
		保育の内容					送迎ステーション利用児の保育の内容							
年齢		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		
養 護	生命の維持	・清潔で安全な環境を整え、一人 一人に応答し生理的欲求を満た していく		・一人一人の生活リズムを重視し 食欲、睡眠、排泄などの生理的 欲求を満たし安定した生活をつくる		・保健的で清潔な生活環境を整え 身の回りの清潔や安全の生活習 慣が少しずつ身につくようにする		・食事、排泄、睡眠、休息、など生 理的欲求が適切に満たされ、快適 な生活や遊びができるようにする		・生理的・心理的欲求を満たし、 安定した生活を送れるようにする ・異年齢児と安全に過ごすようにする		・生理的・心理的欲求を満たし、 安定した生活を送れるようにする ・異年齢児と安全に過ごせるようにする		
	情緒の安定	・一人一人の気持ちを受容し、共感 しながら子どもとの信頼関係 を築いていく		・一人一人の依存欲求(甘え)を 満たし、情緒の安定した生活が できるようにする		・自分の気持ちを安心して表す ことができるようにする ・安全に留意し探索活動が十分に できるようにする		・自我を大切にし、子どもの主体性 を育てていく ・自分の気持ちや考えを安心して 表わすことができるようにする		・保育者との信頼関係を築き、他の友達 とステーションでの生活を楽しめる ようにする		・友達関係を深めながら、安定した気持ちで ステーションでの生活を楽しめるようにする ・生活の中での約束、決まりを知り、望ましい 習慣や態度を身に付けていく		
教 育	健 康	・清潔になる事の心地よさを感じる ようにする ・安全な睡眠環境で安心して睡眠する		・身の回りの簡単なことを自分で やろうとする気持ちが芽生える ・自分から体を動かす事を楽しむ		・生活の中で援助をしてもらいながら 自分でできた事に喜びを感じる ・自分の体を十分動かし運動の楽しさを知る		・自分から体の異常を訴え ができるようにする ・基本的生活習慣や態度を身に付ける		・身の回りを清潔にし、生活に必要 な行動を自分でしようとする		・室内、外の危険な場所や物、危険な行動を 知り気をつけて行動する ・身の回りを清潔に保ち、生活に必要な行動ができる		
	人間関係	・特定の保育士との関わりにより 信頼関係が生れる ・まわりの人や友達に興味をもつ		・保育士や友達に関心を持ち 模倣したり自ら関わろうとする ・身近な人と関わる心地よさを感じる		・生活や遊びの中で順番を待つ などの決まりがある事を知る ・他者のいろいろな気持ちを知る		・共同の物を大切に扱い、譲り合っ て使う ・友達と一緒に活動する楽しさを知る		・友達と簡単なルール遊びをす る中できまりを守れる		・共同の物を大切に扱い、譲り合って使い、 自ら遊んだ後の片付けを進んで行い 年下の子が模倣できるようにする		
	環 境	・安心できる人的・物的環境の下 で感覚の働きを豊かにする ・四季を通じて自然と触れ合う		・好きな玩具や遊具に興味を持っ て関わり様々な遊びを楽しむ ・自然と触れ合い興味や関心を持つ		・自然と触れ合う中で好奇心や 探究心が生れてくる ・季節の行事などに興味や関心をもつ		・身近な動植物や自然現象を見たり 触れたりし、生命の不思議さに 気付く		・身近な物や遊具に興味を持って 関わり、友達と考えたり工夫して遊ぶ		・自然や身近な事物・事象に関心を持ち、図鑑などで 調べたり聞いたりできるようにする		
	言 語	・喃語や片言をやさしく受けてもらい 発語や保育士とのやりとりを 楽しむ		・保育士の話しかけを喜んだり 自分から片言でしゃべる事を 繰り返し楽しむ		・生活に必要な簡単な言葉を聞き 分け、又様々な出来事に関心を 示し、言葉で表す		・自分の思ったことや感じた事を 言葉に表し、保育士や友達と 言葉のやりとりを楽しむ		・保育士の話に親しみを持って聞く ・友達との会話を楽しみ様々な 言葉に興味を持つ		・保育士や友達との会話の中で、考えたことや 経験したことを話し、楽しんだり共感したりする		
	表 現	・保育士の歌を聞いたり、声や音に 合わせて手足や体を動かして 楽しむ		・保育士と一緒に歌ったり、簡単な 手遊びをしたり体を動かして遊ぶ ・感じた事、考えた事を自分なりに表現する		・保育士と歌ったり、リズムに合わ せて体を動かしたりして遊ぶ ・身の回りの出来事に興味を示し模倣する		・絵本や童話などに親しみ、興味を 持ったことを保育士と一緒に言っ たり、歌ったり様々な表現する		・音楽に親しみ友達と歌ったり踊ったり して、様々な表現を楽しむ		・自分のイメージを動きや言葉などで表現した り、なりきって遊ぶ楽しさを味わう ・友達と一つのものを作りあげる楽しさを味わう		
食 育	食を営む力 の基礎	・離乳食の味に慣れ、 意欲的に食べる		・様々な食材、味に慣れ 意欲的に食べる		・様々な食材に興味を示し 自分で意欲的に食べる		・食事の大切さを知り 好き嫌いをしないで食べる		・食事のマナーを身につけ 食べる事の大切さがわかる		・食事のマナーを身につけ 食べる事の大切さがわかる		
健康支援		・発育、発達状態の把握 ・年間保健指導計画 ・心身の状態、家庭生活、養育状態の把握 ・内科、歯科検診 ・異常が認められた時の対応 ・食物アレルギー児への対応				研修計画		・小山市私立保育園年齢別研修、職員合同研修 ・園外研修(県外、県内) ・園内研修(保育内容、人権研修、職員教育など)						
環境 衛生管理		・保育士、調理員の検便 ・職員の健康診断 ・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒 ・調理員個人衛生チェック(毎日) ・コロナ感染予防対策				・消臭、除菌、抗菌対応噴霧(月1回) ・害虫検査駆除作業(月1回) ・安全管理及び自主点検(月1回) ・年2回の尿、ぎょう虫検査		保育の特色		・さくら、城山さくら保育園との交流 ・一人一人の発達過程を見据え、個人差を尊重した保育 ・見守る保育への取り組み(子どもの主体性を大切しそれを見守り支えていく) ・体力づくり(リトミック、運動遊び、散歩等)				
安全対策 事故防止		・毎月の避難訓練(火災、地震、不審者対応) ・消火訓練 ・救命講習会(AED含む) ・AED設置				・年2回の消防署立ち入り検査、消防点検 ・年間交通安全指導計画 ・監視カメラ ・スプリングクーラー設置 ・安全管理及び自主点検(月1回)		地域の行事 への参加		・地域のお祭りへの参加 ・地域の防災訓練、消防訓練への参加				
保護者 地域へ の支援		・保護者懇談会 ・保育参観 ・実習、職場体験、ボランティアの受入 ・虐待防止の啓発				・送迎ステーション仕組みの説明 ・健康相談、育児相談 ・支援の必要な子への発達相談		自己評価		・自己チェックリストの実施 ・保育園の評価反省 ・第三者評価の理解				